

第3回定例会 議決結果

議会だよりでは結果のみをお知らせしていますが、詳しい審査状況などについては、会議録や委員会記録（11月下旬までにホームページ等で公開予定）をご覧ください。



◎＝満場一致で可決・認定／○＝賛成多数で認定／▲＝賛成少数で不認定

令和8年度 補正予算	一般会計／国民健康保険事業特別会計／自転車競走事業特別会計／介護保険事業特別会計／後期高齢者医療事業特別会計／水道事業会計／病院事業会計／一般会計〔追加議案〕	◎
条 例	（制定）昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除および職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例および函館市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例／函館市廃棄物の処理および清掃に関する条例および函館市一般廃棄物処理施設生活環境影響調査結果の縦覧手続等に関する条例の一部を改正する条例	◎
	（一部改正）特別職の職員の給与等に関する条例／函館市認可地縁団体印鑑条例／函館市高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例／函館市都市景観条例	◎
そ の 他	物品の購入契約／令和7年度函館市公共下水道事業会計剰余金の処分／教育委員会の委員の任命の同意／人権擁護委員候補者の推薦	◎
令和7年度 決 算	一般会計／港湾事業特別会計／奨学資金特別会計／地方卸売市場事業特別会計／介護保険事業特別会計／発電事業特別会計／母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計／後期高齢者医療事業特別会計／水道事業会計／公共下水道事業会計／交通事業会計／病院事業会計	◎
	国民健康保険事業特別会計（反対：日本共産党）	○
	自転車競走事業特別会計（反対：民主・市民ネット、公明党、工藤篤議員、荒木議員、川崎議員）	▲

審査の概要

予算決算特別委員会 9/1・9/11
予算決算特別委員会分科会 9/2・9/4～9/8

議案16件を原案のとおり可決、決算13件を認定、決算1件を不認定

予算決算特別委員会では、令和8年度一般会計補正予算をはじめとする議案や令和7年度各会計決算など30件について審査を行いました。

委員会は、審査をより充実させるため、議長を除く全議員が委員となり、委員会内に各常任委員会が所管する事項と同様の事項を審査する総務・経済建設・民生の3分科会を設置し、付託案件を分担して審査しました。その後、委員会は各分科会から審査の経過と主な内容について報告を受け、採決を行いました。

各分科会では、各議案および各決算について議論の中心となる問題点を整理するため、論点整理を行い、疑問点を整理・確認したうえで、理事者に質疑を行いました。質疑により議案・決算の疑義を解明した後、分科会として議案・決算をどう判断するのか、委員間で選定した項目について協議を行い、各議案および各決算についての賛否態度を取りまとめました。

各分科会の主な審査過程は次のとおりです。

総務分科会

決算2件・議案6件を審査

選定した論点と整理・確認した疑問点
決算第4号 令和7年度函館市自転車競走事業特別会計決算

○「収入済額中亡失による現金不足額1129万850円」の記載等

・ 公金亡失による被害額の回収
・ 売上金や通帳等の管理体制、決裁や承認の体制、不正を検知できなかった原因

・ 現金不足を含む決算の妥当性 他
主な理事者の説明

被害額の回収について元職員本人と債務の弁済に関する交渉に入っており、今後、法的効力のある契約の早期締結に向けて協議を重ねてまいります。

今回の決算処理については、地方自治関係実例判例集や地方財務実務提要等を踏まえ、本市における過去の事例と同様の処理としたところ です。

委員間の協議

今回の事案については、競輪事業部の口座に関して内部統制が機能していない中、2年に一度の定期監査の谷間の年に当たっており、誰も気づくことができない状態となっていたことが分かりました。職員の配置を含めて管理体制の強化が必要であると考えます。決算の数字に間違いはありませんが、執行の適正性を欠いていると感じており、懸念を示したいと思っています。などの発言がありました。

選定した論点と整理・確認した疑問点
議案第9号 特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について